



たけのうち
竹内
さいこ
最古の官道
にほんいさん
日本遺産

④ 竹内街道は、現在の堺と奈良県葛城市を結ぶ、全長26キロメートルにも及ぶ日本最古の官道です。もともとは二上山で採れたサヌカイトを採掘するための道でしたが、後に難波の港と飛鳥の都をつなぐ官道として整備されました。古代は遣隋使や遣唐使が行き来した外交の道、中世には堺と橿原市今井町を結ぶ経済の道、近世には伊勢参りに関わる信仰の道として、様々な役割を担ってきました。平成29年にその歴史的なストーリーが認められ、日本遺産に認定されました。



ちからいし
力石
いちばん
われこそ一番
ちからも
力持ち

⑤ 昔、神社の境内や村はずれなどに、力石といっ大きな丸い石が置かれていました。これは若者たちが力試しに持ち上げたもので、娯楽の少ない時代には相撲とともに親しまれた競技の一つでした。力石の大きさは大小様々ですが、大きいものだと300キログラム近いものもあり、太子町にもいくつかの力石が残っています。



つづ
続いてる
とうろまつ
灯路祭りの
ひかりみち

⑥ 『再発見と地域の魅力づくり』をテーマに、10月の中旬に行われる竹内街道灯路祭り。町内の竹内街道に灯ろうが並び、幻想的な雰囲気浮かび上がらせ、街道を綺麗に彩ります。沿道では民家を利用した軒下ギャラリーや楽器演奏などの様々な催しが行われます。約2.3キロメートルにもわたって並び、ほのかな明かりを放つ灯ろうはまるでわたしたちを導く光の道のようです。



てづく
手作りの
てんぽ
店舗が並ぶ
しょうとくいち
聖徳市

⑦ 毎月第三日曜日に太子・和みの広場で行われるたいし聖徳市は、住民のふれあいの場を作っています。地域を活性化させる目的で、平成18年より始められました。地域の人々が中心となって軽食販売や雑貨など、様々な出店が並び、ステージではスイカ割りなどの季節に合わせたイベントも行われています。他のイベントと同時開催されることもあり、地域のにぎわいを盛り上げています。



とうげ
峠越え
いっぶくきゆうけい
一服休憩
みち
道の駅

⑧ 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」は国道166号線を走るドライバーの休憩所として平成9年に開設した、大阪府で2番目の道の駅です。地元でとれた新鮮な野菜や、みかん・ぶどうをはじめとする果物を販売しているほか、周辺の観光案内を行っています。隣接する竹内街道を奈良県側に進むと竹内峠があり、峠越えを行う人々の休憩ポイントとしてよく利用されています。